

Course number		U-LAS70 10001 SJ50			
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：文学とは何か ヴァレリー対ブルトン		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Letters Associate Professor,TORIYAMA TEIJI	
	ILAS Seminar :What is literature? Valery vs. Breton				
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester		Quota (Freshman) 8 (8)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Mon.5
Classroom	French Language and Literature Laboratory(L830), 8th floor, Faculty of Letters Main Bldg. (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	フランス文学 / 文学論 / 芸術論				
[Overview and purpose of the course]					
<p>「文学とは何か」という問いは尽きることなくその答えもまた数知れないが、20世紀前半のフランスにおいてこの問いは先鋭化し、正反対の考え方が生まれた。「文学は知性の祝祭だ」という者と「文学は知性の崩壊だ」という者が対立し、「作品は決して完成しない」という考えと「作品は常に完成している」という考えが衝突する。</p> <p>ポール・ヴァレリー（Paul Valéry, 1871-1945）とアンドレ・ブルトン（André Breton, 1896-1966）はこうした対照的な文学観を代表する名であり、前者はしばしば新古典主義と形容され、後者はシュルレアリスムの創始者である。20世紀フランスの新旧論争とも言うべき両者の対立は文学や芸術について考えるためのヒントに満ちている。</p> <p>本授業ではヴァレリーとブルトンを中心に、対極をなす思想を比較検討することで「文学とは何か」「芸術とは何か」という問いを深めることを目指す。</p>					
[Course objectives]					
20世紀フランスにおける対極的な文学観を理解し、そのうえで自分自身の見解を述べられるようになる。また批評的読解の基礎を身につけ、学問的な質疑応答の仕方や小論の書き方を習得する。					
[Course schedule and contents]					
基本的に以下の計画に従って進めるが、授業の進み具合や受講生の理解の程度に応じて順序や同一テーマの回数を変えることがある。					
第1回 イントロダクション（ヴァレリー、ブルトン、シュルレアリスム等の紹介）					
第2-6回 ヴァレリーの文学論とブルトンの文学論の比較検討					
第7-8回 ヴァレリーの詩や散文を読む					
第9-10回 ブルトンをはじめシュルレアリストたちの詩や散文を読む					
第11-14回 受講生による発表と議論					
第15回 フィードバック					

Continue to ILASセミナー：文学とは何か ヴァレリー対ブルトン(2)					

ILASセミナー : 文学とは何か ヴァレリー-対ブルトン(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業における議論への参加（50％）、授業における発表の内容にさらに考察を加えたレポート（50％）。到達目標の達成度に基づき評価するが、問題を多角的にとらえた上で、総合的な視点と独自の見解を示すものについては特に高い評価を与える。

[Textbooks]

プリントを配布する

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

配布された資料をあらかじめ読み、授業までに自分なりの感想や意見や質問を考えておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

質問などは授業時間のほかメールでも受け付けます（toriyama.teiji.2r@kyoto-u.ac.jp）